



き た ま ち

わ た し た ち は
北 海 道 の
暮 ら し た い ま ち
オ ン リ ー ワ ン づ く り
を 目 指 し ま す

一般社団法人 北海道まちづくり協議会
2014 年度 活動報告書



目次

一般社団法人 北海道まちづくり協議会
2014年度活動報告書 (2014.4.1～2015.3.31)

ごあいさつ | 01

主な年間活動 | 02

実践活動研究会 | 04

1号研究会 ●街の中心地区活性化研究会 | 04

●防災・減災研究会 | 05

●マンション建替え支援研究会 | 07

●まちづくり戦略研究会 | 08

2号研究会 ●恵み野商店会マップ作成研究会・成果報告 | 09

●南一条地区再開発支援研究会・成果報告 | 10

まちづくり研修会 | 11

「地方における人口減少時代の新たな“まちづくり”」

まちづくりゼミナール | 12

「ソ連とはどんな国だったのか？～モスクワ生活を振り返って～」

会員情報交流会 | 13

「市街地再開発事業の分かりやすい資料作成について」

現地視察会 | 14

新年交礼会 | 15

組織・役員 | 16

会員一覧 | 17

●ご覧になりたい項目をクリックするとページに移動します

ごあいさつ



一般社団法人 北海道まちづくり協議会
会長 大石 章夫

“北海道の暮らしたいまち、オンリーワンづくり”をめざして

平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定・施行され、国内の各地域・地方が、それぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をかたちづくること、魅力あふれる地方のあり方を築くことが目標になっています。

主要な施策として、東京一極集中の解消、地域社会問題の解決、地域での就業機会の創出を、「まち・ひと・しごと創生」をキーワードに具体化していこうとのことですが、国は積極的に取組む者を支援し、実現化に向けた知恵を絞るのは地元であるという大枠の構図は、変わってはいないようです。

実現化に向けた知恵を絞る地元に対応する力がないと、取組みに消極的と判断され切り捨てられていくのも選択と集中の世の中といってしまうかもしれませんが、そんな中で協議会は、意欲はあるが力不足という地域の応援をしていきたいと思っておりますので、お気軽にお声がけください。一緒に悩み・解決していきたいと思えます。

今、協議会は、「コミュニティ再生」を活動テーマにし、「人口減少への対応」切り口として具体的な取組みに臨んでいます。人口減少→地域活力の衰退→コンパクトシティ→コミュニティ再生→地域の活性化という流れの中で、協議会の目標“北海道の暮らしたいまち、オンリーワンづくり”をめざしています。

この報告書は、平成26年度(2014年度)の協議会活動をまとめたもので、3年間の活動でのわずかですが実現成果も記録させていただいております。ご一読いただき、引き続き協議会活動にご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

主な年間活動

組織運営			
総 会	2014年5月23日	第1回 通常総会	会場：中村屋旅館
理 事 会	5月16日	第1回 理事会	会場：緑苑ビル・201号室
	5月23日	臨時理事会	会場：中村屋旅館
	10月30日	第2回 理事会	会場：緑苑ビル・201号室
	2015年3月25日	第3回 理事会	会場：緑苑ビル・201号室
業 務 執 行 理 事 会	5月、10月、3月(2015) に、協議会事務所および201会議室において開催		
専 門 部 会 連 絡 会 議	4月、7月、1月(2015) に、協議会事務所において開催		
他団体会議 への出席	北海道建築設計会議 6回出席 各団体活動報告等 会場：緑苑ビル・201号室		

まちづくり支援事業	
街の中心地区活性化研究会	研究会ミーティング：5回 恵み野商店街との意見交換会：2回 大船渡駅周辺地区土地区画整理事業の経過報告会：1回
まちづくり戦略研究会	研究会ミーティング：5回
防災・減災研究会	研究会ミーティング：4回 災害図上訓練実施：1回
マンション建替え支援研究会	研究会ミーティング：4回 マンション建替え相談会：2回
市町村まちづくりアンケート	対象：道内すべての市町村 内容：まちづくりに関する課題の有無とその内容(自由記述形式)
東北復興状況視察	7月31日～8月2日 東北の復興状況視察と南三陸町役場におけるヒアリング 参加者数：8名

交流研修事業	
まちづくり研修会	9月4日 会場：札幌ユビキタス協創広場U-cala 参加者数：70名 テーマ：地方における人口減少時代の新たな“まちづくり” ～未来に向けた地域マネジメントへのヒント～
まちづくり出前フォーラム	10月17日 会場：富良野文化会館 参加者数：49名
まちづくりゼミナール	11月28日 会場：緑苑ビル・201号室 参加者数：15名
会員情報交流会	10月24日 会場：緑苑ビル・201号室 参加者数：20名
新年交礼会	2015年1月29日 会場：中村屋旅館 参加者数：44名

情報広報関連事業	
情報発信および管理・更新	ホームページ管理更新、北まちブログの管理更新 メールマガジン(メール INFO 配信)、活動報告書の作成

環境取組事業	
「公益財団法人 北海道環境財団」に、当協議会年度予算の1%程度の寄付を実施	

受託事業	
南一条地区再開発推進活動支援業務	【実施主体】南一条地区再開発支援研究会(2号研究会)
恵み野商店街マップ作成コーディネート業務	【実施主体】恵み野商店街マップ作成研究(2号研究会)

平成26年度 第1回通常総会

2014年5月23日 会場：中村屋旅館

2014年5月23日(金) 午後5時30分より中村屋旅館において、「平成26年度第1回通常総会」を開催し、出席者30名、委任状出席12名と全会員の7割の方にご出席いただきました。



総会の議案は、第1号議案「平成25年度事業報告及び収支決算報告」、第2号議案「理事及び監事選任の件」の2件でした。第2号議案は、定款に従い、任期満了に伴う改選で、役員案が承認された後、臨時理事会が開催され、当協議会の役職が決定しました。

また、総会終了後には、39名の出席者により懇親会が開催され、平成25年度から法人会員となられた「土地家屋調査士法人 共生」の代表である加藤俊太郎氏と新たに常務理事となられた個人正会員の川瀬浩氏から今後の当協議会の活動にむけた意気込みの挨拶をいただきました。

また、今まで当協議会の副会長としてご尽力していただいた法人正会員「株式会社クオリアット」の代表取締役 森 哲子氏へ第2期の副会長になられた法人正会員「有限会社ジョブコム」の代表取締役 能戸裕之氏より、今までの感謝を込めて、花束の贈呈がありました。

今期からは新体制となった役員を筆頭に今まで以上の活動を展開していきますので、今後とも当協議会をよろしくお願い申し上げます。



加藤 俊太郎氏



川瀬 浩氏



森 哲子氏

街の中心地区活性化研究会

活動内容	中心市街地に存在する街の中心地区に着目し、その地区の成り立ちや現状をヒヤリングと地元意見交換を通して理解し、活性化成功の秘訣や課題解決の糸口を探る現場と密着した活動を行っている。このほか、国内外の街づくり事例を研究するなど、街の中心地区活性化推進のための情報収集も行っている。また、この活動の一環と捉え、これらのプロセスや成果を広く情報発信する。
代表	大石 章夫(有限会社大石R計画)
メンバー	一戸 勝巳、内山 靖久、大場 眞一、岡本 浩一、片岡 道宣、加納 隆一、坂本 行宏、佐藤 市郎、武井 秀爾、辻井 順、能戸 裕之、藤山 三冬、目黒 裕史、森 哲子、山口 重則、高橋 明男(高橋氏は平成27年6月に逝去されました。ご冥福をお祈りします)
主な活動場所	道内中心市街地に存在する街の中心地区(主に商店街)
活動期間	平成26年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回ミーティング	・25年度報告書の確認、26年度業務内容と予定	4月24日	緑苑ビル201号室	11
2	第2回ミーティング	・勉強会(まちづくりや街の中心地区について)	7月10日	緑苑ビル201号室	13
3	意見交換会	・恵み野商店街活性化意見交換会	9月18日	恵庭 RB パーク	18
4	第3回ミーティング	・恵み野意見交換会の報告 ・年度内活動実施予定、次年度以降の研究会	11月13日	緑苑ビル201号室	9
5	大船渡駅周辺土地区画 整理事業の経過報告会	・大船渡市在任派遣職員6名を迎え「大船渡市の復興に向けて」をテーマに報告会を実施	2月11日	かでの 2.7 会議室	30
6	第4回ミーティング	・再開発が景観をつくる ・恵み野商店街マップ紹介	2月18日	緑苑ビル201号室	11
7	意見交換会	・恵み野商店街活性化意見交換会	3月17日	恵庭 RB パーク	7
8	第5回ミーティング	・意見交換会の報告 ・研究会活動の振り返り	4月7日 (2015年)	緑苑ビル201号室	16

活動について

- ・26年度は、2回の地元意見交換とマップ作成研究会の作業を5回のミーティングで報告聞きながら活動の意見交換を行った。
- ・3年間の活動の成果がやっと芽を出してきたようで、商店会のメンバーがそれぞれ役割分担し活動を行うようになり、その活動には若い人たちが積極的に参加してきており将来の担い手の育成も始まっているとの手ごたえを感じた。
- ・マップとスマホサイトという新しい活動アイテムを持った恵み野商店会が、今後も当初の思惑通り活動を行っていけるか推移を見守りたい。
- ・本研究会は、ひとつの目的が果たせたということで、今年度を以て解散する。
- ・ただし、3年間の商店会と北まちの関係から、これからも意見交換を通して活動の助言などを期待されているので、27年度からは研究会という形をとらず、恵み野商店街のイベントへの参加や意見交換の開催を目的に、旧街の中心研メンバーを中心とした有志による「恵み野商店街同好会」を結成し期待に応えることとする。



恵庭市担当部署を交えて恵み野商店会との意見交換会開催風景

防災・減災研究会

活動内容	・被災・復興に関わる情報のストックと共有（ネットを活用した情報共有） ・各種専門分野等の専門家を招いた勉強会の実施（防災、都市計画、エネルギー、その他） ・フォーラム、シンポジウムの開催（初年度を想定） ・ケーススタディ
代表	高森 篤志（株式会社ソフトスケープ）
メンバー	五十嵐 憲一、内山 靖久、生沼 貴史、奥野 祐介、押野 和也、香川 誠、久新 信一郎、佐藤 潤、武井 秀爾、高橋 美香、中山 祐二、前道 美有、山口 重則
主たる活動場所	津波被害が想定される地方自治体 等
活動期間	平成26年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回ミーティング	・今年度の活動内容、スケジュールについて	5月26日	緑苑ビル201号室	12
2	第2回ミーティング	・現地視察	7月5日	茨戸南町内会	7
3	第3回ミーティング	・災害図上訓練（DIG）の実施について	8月4日	緑苑ビル201号室	10
4	災害図上訓練実施	・茨戸南町内会における災害図上訓練（DIG）	10月25日	茨戸南町内会	27
5	第4回ミーティング	・次年度事業計画	1月14日	緑苑ビル201号室	9

活動について

平成26年度の活動は、茨戸南町内会を対象とした災害図上訓練（DIG）の実施を中心に取り組んだ。7月の事前現地視察を経て、10月に茨戸南町内会との災害図上訓練を実施した。この取り組みにより研究会立上げ以来初となる具体的なフィールド（町内会）との関係ができ、研究会メンバーが地域の具体的な課題を知ることができた。図上訓練の評価は高く、町内会と今後も継続的な関係を持ち続ける足がかりとなった。



事前現地視察



災害図上訓練実施状況

防災・減災研究会活動 災害図上訓練「茨戸南町内会における災害図上訓練の実施」



今年度の現地調査活動の一環として、平成26年10月25日(土) 茨戸南町内会において、災害図上訓練(DIG)を実施しました。研究会からは6名がアドバイザーとして参加し、町内会からは21名の参加があり、主婦から高齢者まで幅の広い年齢層の参加となりました。以下、その模様をレポートします。

DIGの目的は、洪水災害が想定されている町内会の住民一人ひとりの防災意識の高揚を図り、迅速な避難を行うことを目指しています。

内容は、以下のとおりです。

①「災害時の避難の考え方」と題した講演

災害は怖いものだという認識はあるものの、「自分の住んでいる地域には災害は起きない」、あるいは、「自分は災害に遭わない」等、自分の都合の良ように思ってしまう心理から、避難情報に従わない人が沢山いる。このような、現実を踏まえて、「どうしたら迅速な避難」をしてもらえるのかといった観点から講演を行いました。平成26年9月11日に北海道に発令された「大雨特別警報」の時の状況や、ハザードマップの見方、防災に対する日の備え等について講演を行いました。

②「防災クイズ」

防災クイズをとおして、防災知識を高めることを目的に、「避難場所の開設は誰が行うのか」、「ペットの避難で正しいもの」、「災害用伝言ダイヤルの電話番号は?」といった設問で行いました。

③災害時図上訓練

洪水による浸水が予想されている町内域について、札幌市が作成した洪水ハザードマップに基づき、「自分の住んでいる家の浸水の深さを確認する」、「危険と思われる箇所を確認する」、「避難時に支援が必要な方を

確認する」等について、町内会の参加者が地図にマーキングするといった作業を行って頂きました。

「自分の住んでいる家の浸水の深さを確認する」作業は、洪水災害から命を守るための適切な避難方法を促す目的で行いました。2m以上の浸水が予想されている場合、建物の2階に避難せず、避難場所へ避難をする。さらには、浸水が始まる前に、避難を完了していなければならないことを伝えました。

④ワークショップ

「③災害図上訓練」から明らかになった課題について、テーブル毎にまとめ、発表して頂きました。主な課題を紹介します。

- ・現在、指定されている避難場所が適切なかどうか、今後、話し合いが必要
- ・行政に頼らない町内会として防災活動の強化が必要
- ・高齢者等の避難については、近所の協力が必要である。特に、若い人の協力が必要
- ・避難訓練が必要
- ・災害情報や避難情報に留意するとともに、町内会独自の避難情報の周知方法の検討
- ・避難に使用する道路の状況を普段から確認する
- ・冠水対策として、雨水桝等の清掃が必要

などなど、沢山の意見が出されましたが、全ての参加者がこのような意見を共有できたことが良かったと思います。



⑤総括

明らかになった防災の課題について、今後、どう町内会で対応したら良いのか等、高森座長からアドバイスがありました。

(レポート：防災・減災研究会 佐藤 潤)

マンション建替え支援研究会

活動内容	近い将来、大きな社会問題になると予想されている「マンション建替え」について、(一社)再開発コーディネーター協会のマンション建替え専門グループと一緒に、技術向上のための事例研究や情報収集を行い、マンション建替えの推進普及に努めるとともに、支援を希望する管理組合に建替えプログラムの現地指導やマンション建替え実施のコンサルティング参加も視野に入れた活動をする。
代表	武井 秀爾(個人正会員)
メンバー	大石 章夫、内山 靖久、岡本 浩一、押野 和也、葛西 政一、菅野 克、北川 好和、久新 信一郎、後藤 健夫、佐藤 市郎、八田 真勝、濱谷 雅弘、深澤 彰一、本間 寿幸、横山 幹人、吉田 潔
主たる活動場所	札幌市内のマンション管理組合を中心
活動期間	平成26年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回ミーティング	・平成26年度事業計画及び第1回MS相談の報告	4月15日	緑苑ビル201号室	12
2	第2回マンション建替え相談	・マンションの修繕や耐震改修についての勉強会	4月30日	緑苑ビル201号室	8
3	第2回ミーティング	・第2回MS相談の報告	5月22日	緑苑ビル201号室	8
4	第3回マンション建替え相談	・北まちが今後関われること及び現在のマンションを建て替えた場合のボリュームスタディ	5月30日	緑苑ビル201号室	7
5	第4回マンション建替え相談	・今後の進め方についての相談	9月16日	緑苑ビル201号室	6
6	第3回ミーティング	・MS建替え相談報告 ・MS建替え事例研究他	12月10日	緑苑ビル201号室	9
7	第4回ミーティング	・来年度事業計画(北海道MS建替えネットワーク北海道との合同会議)	1月27日	緑苑ビル201号室	9

活動について

- ・平成25年度に引き続き、マンション建替えに関する住民相談を実施できた。
- ・マンション建替えの住民相談を通して、初期段階におけるマンション建替えの説明資料が整理された。



研究会ミーティング



マンション建替え相談会

まちづくり戦略研究会

活動内容	26年度においては、昨年度に引き札幌市におけるコンパクトシティのあり方について議論すると共に、特に高度成長期に開発されて現在高齢化が急激に進展しつつある郊外住宅団地住民を対象としたモニターリング調査などを実施するなどして、これからの高齢化郊外住宅団地のまちづくりのあり方について考察し、具体的施策のためのまちづくり戦略を導き出す。
代表	丸田 剛久（個人正会員）
メンバー	内山 靖久、生沼 貴史、大石 章夫、大場 眞一、岡本 浩一、菅野 克、久新 信一郎、後藤 健夫、佐々 巧、辻井 順、森 哲子
主たる活動場所	札幌市
活動期間	平成26年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回ミーティング	・H26 年度活動計画について	5月9日	豊川南1条ビル 7階会議室	5
2	第2回ミーティング	・今年度の基本方針と具体的進め方	7月25日	緑苑ビル201号室	9
3	第3回ミーティング	・研究の進捗状況と内容	10月8日	緑苑ビル201号室	8
4	第4回ミーティング	・研究の進捗状況と内容	12月9日	緑苑ビル201号室	10
5	第5回ミーティング	・解散にあたり振り返り	3月10日	緑苑ビル201号室	10

活動について

- ・ 26年度は、北海学園大学建築学科 岡本研究室の卒業生をサポートする形でもみじ台団地のコンパクト化について議論した。
- ・ 2年3か月の活動を振り返って、将来に向けたまちづくりの種というテーマのもとに、個々の意見を発表し、今後新たなテーマのもとに新たなメンバーで研究を続けていくことを願って研究会を解散した。

主な意見

- 1 実務に近いまちづくりの種を探そう
- 2 目の前のまちづくりに焦点を当てよう
- 3 地下鉄沿線の再開発に目を向けよう
- 4 コンパクトシティと交通機能を絡めた議論をしよう
- 5 落ちているまちづくりの種に目の出し方を見つけられる人材を育てよう（専門性のある人の顕在化）
- 6 くすぶっている種を積極的に育てよう・地域のまちづくりの種を上手に育てよう
- 7 種（ネタ）の共有化
- 8 待ちではなく積極的に取り組もう



研究会ミーティング

(受託事業) 2号研究会 恵み野商店会マップ作成研究会・成果報告

活動目的 内 容	平成25年度の「街の中心地区活性化研究会」の取り組みの発展的な動きとして、恵み野商店会からマップ作成の要望があった。当研究会では、北海道経済産業局の補助金活用を薦め商店会も合意したことから、地域活性化補助金(にぎわい補助金)に公募し、採択された。 本研究会は、商店会からの要請のあった商店街マップの原案を作成し、商店街や商店の更新情報を地元商店会により継続的に発信できるメディア作成を目指した。
代 表	森 哲子(株式会社 クオリアット)
メンバー	瀧田 展明、高橋 美香、武井 秀爾
成 果	①紙媒体による恵み野商店街イラストマップ(仕上がり: A5サイズ・冊子型)の作成 ②スマートフォン、タブレットから容易に商店街情報にアクセスできるスマホ専用サイトの構築 ③商店会が継続的に更新情報が発信できるよう専門家による講習会を実施
活動期間	平成26年7月から平成27年3月まで

成 果 品



冊子型イラストマップ (A5・16ページ)

お店紹介のコラムと見開きマップ、商店会全店の情報ページで構成。QRコードを読み込むとスマホサイトにアクセスできる。



スマホ専用サイト

恵み野商店会加盟店をカテゴリーに分けて紹介。
サイト情報の更新は商店会担当者ができるように構築。



専門家講習会

成果について

- マップが大変好評で、恵み野商店会全店舗をはじめ、恵み野各町内会の全戸、恵み野の小中学校の合わせて1万部ほど配布した。(2万部印刷)
- マップは手描き風であったかい雰囲気があるので来店者が手にとってくれる。
- リスボン(カレー専門店)では、配布後ランチタイムに満席の状態が続いている。
- きゃろっと(コーヒー豆販売店)では、売上が去年1月の

売上げに対し160%、新規顧客が200%になるなど、目に見えて効果が出ている。

- てぶくろ(生活雑貨)では、20年来入店したことがなかった近所の方が、マップのコラムを読んで来店してくれた。
- スマホサイトは見やすく便利だと思う。
- 商店街と顧客や地域住民とをつなぐツールになっていると思う。
- などの意見・感想が恵み野商店会から寄せられた。

(受託事業) 2号研究会 南一条地区再開発支援研究会・成果報告

活動目的 内 容	南一条地区では、現在検討されている南一条通の地下及び地上整備に合わせて、南一条沿線地区の地区更新を進めて、新たな時代に相応しい街並み形成や賑い空間を構築を目指している。当該地区が共有するビジョンは南一条まちづくりのグランドデザイン（地上及び地下）で、これを基礎に老朽化した沿線建物の個別建替え、共同建替えに役立つ再開発制度の導入、建替えの際に盛込む公共貢献、空間デザインなどの実現について共同研究し、再開発意識とまちづくり意識を高め、将来の再開発事業実施に備えていくこととしており、この活動を支援する。
代 表	大石 章夫(有限会社 大石R計画)
メンバー	大場 眞一、押野 和也、森 哲子
成 果	①南一条地区開発事業推進協議会の会員を対象とした再開発勉強会をH26年10月より3回実施 ②当該協議会のこれまでの活動や勉強会に関する情報発信を目的にインターネットサイトを作成・開設
活動期間	平成26年7月より現在に至る

再開発勉強会

	開催日	テーマ
第1回勉強会	H26年10月21日	1) 南一条地区まちづくりの検討経緯と目指すもの 2) 再開発の取組み
第2回勉強会	H26年12月2日	1) 南一条地区まちづくり活動の現況と今後 2) 再開発事業の進め
第3回勉強会	H27年2月24日	1) 容積割増の諸制度について 2) 再開発事例 3) 再開発事業、失敗の種！ 4) 個別相談会の実施について



再開発勉強会の様子

WEB サイト



成果について

- ・南一条地区の関係権利者に、沿道開発への実践的な取組みに関する基礎的な知識を理解してもらうことを目的に3回の再開発勉強会を実施した。
- ・南一条地区には70名を超える土地関係者がいるが、毎回30%強の出席があり、一応の成果が見られたと感じている。
- ・委託者においても北まちの今回の活動は大変有意義であったと認めており、今後継続の可能性も出ている。

まちづくり研修会

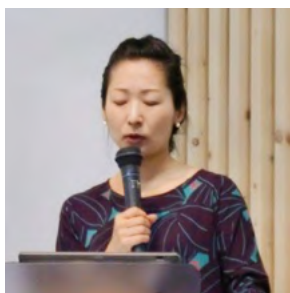
テーマ/地方における人口減少時代の新たな“まちづくり”～未来に向けた地域マネジメントへのヒント～

2014年9月4日 会場：札幌・ユビキタス協創広場U-cala

平成26年9月4日、ユビキタス協創広場U-calaにて「平成26年度まちづくり研修会」が行われました。今年度のテーマは「地方における人口減少時代の新たな“まちづくり”～未来に向けた地域マネジメントへのヒント～」です。

研修会では北海道の現状報告と問題提起、そして事例紹介として民間、行政のそれぞれの立場からお三方に講演していただきました。

【1】札幌市立大学 片山先生によるコミュニティ・レストランを通してのご活動は、交流拠点を設け地域の絆を構築する仕組みに取り組まれております。利用者の状況に合わせた運営方法や資金繰り、事業を進めていく中で様々な問題を解決しながら関わる人たちの成長等についてのご講演をいただきました。



【2】東川町 竹部課長からは、1985年の「写真のまち宣言」でスタートした「写真の町」によるまちづくりとして、地域の資産である風景を活かしたブランド化の発信、外部との交流そして町民へ文化を根付かせる取り組みについてご講演をいただきました。



【3】帯広市電信通り商店街振興組合 長谷理事長からは商店街コミュニティ機能再生について、衰退していく商店街に歯止めをかけるべく住民ニーズを取り入れ、高齢者や障害のある方との共生、そして子育て支援等、地域の活性を含めた取り組みについてご講演をいただきました。



またその後の意見交換会でプレゼンターよりいた

たキーワードをいくつかご紹介します。

『ひとつの成功が自信を生み、次につなげていく事ができる』、『誰かが何をやるではなく、阿吽の呼吸で進められる組織づくり』、『空き店舗、空き地は宝、可能性を秘めている』、『ハードの失敗は許されないが、ソフトの失敗は反省として次回へ生かす事ができる』

『維持継続のためには新しいビジョンへの取り組みも必要』等。

人口減少はどの地域においても共通の課題であり負の要素ばかりが騒がれております。

プレゼンターから紹介いただいた事業のテーマは異なりましたが、共通する点は、『人を巻き込む』『地域としての課題の見直しをする』、『その課題にどのように取り組むか、地域との連携を模索する』、『住みよい地域の形成づくりへつなげる』ということでした。

指をくわえてみているだけでは何も変わらない、負の要素に向き合う活動がいかに必要であるかを考える機会となった研修会でした。



〔レポート：常務理事 山口重則〕

第1回 まちづくりゼミナール

テーマ「ソ連とはどんな国だったのか?～モスクワ生活を振り返って～」

2014年11月28日 講師 | 樋口 千恵氏 | アルファコート株式会社 常務取締役

平成26年11月28日(金)、緑苑ビル201号会議室において、当協議会会員のアルファコート(株) 常務取締役 樋口千恵氏を講師に迎え、今年度1回目のまちづくりゼミナールが開催されました。

【第1部】では、「リーマンショックとファンドバブル再来、その波のなかで地元デベから見た資金調達手法の動き」をテーマに、不動産証券化の動きとして、2004年：ファンドバブル到来、2006年：ファンドバブル絶頂期、2008年：リーマン破綻、2009年：ファンドバブル崩壊の波が到来、2011年：投資マネーの増加といった流れの中、道内初となる開発型SPCによる投資家向けマンション分譲、賃貸マンションの証券化、ファンドバブル崩壊の波到来を迎え、開発側の出口リスクを軽減する開発手法としてコーポラティブハウス、街なか居住再生ファンドの活用、ヘルスケアセット(医療介護系不動産)への取り組みを行ってきたことをお話いただきました。

【第2部】では、幼少期をモスクワで暮らした体験から「ソ連 社会主義国時代、鉄のカーテンの内側、モスクワの生活やまちづくりとは?」をテーマに、モスクワの歴史(キエフ～モスクワ～モンゴル支配～ロシア帝国～ソ連～そしてソ連消滅)、街と暮らし(軍事機密により情報開示されなかった街：今となっては最先端エコライフ)、極寒冷地大都市の知恵(地下鉄・地下通路・集合住宅・熱源など)についてお話をいただきました。

1部、2部を通して、普段なかなか聞くことができないような大変貴重なお話を聞くことができました。なかでも「道内デベとして金融の地産地消を目指している」という言葉がとても印象に残った今回のまちゼミでした。



〔レポート：有限会社ジョブコム 能戸裕之〕

第1回 会員情報交流会

テーマ「市街地再開発事業の分かりやすい資料作成について」

2014年10月24日 話題提供 | 武井 秀繭氏 | 個人正会員



平成26年10月24日(金)、会場は緑苑ビル201会議室にて第1回会員情報交流会が開催されました。

今回のテーマは「市街地再開発事業の分かりやすい資料作成について」で市街地再開発事業を地元の方々や興味のある方々に向け、作成した説明用の資料を、先ずは当協議会会員の皆様にお聞きいただき、資料の完成度を確認すると同時に、皆様の貴重なご意見を参考に「より分かりやすい資料」へと高めていこうというものです。

今回は当協議会会員武井秀繭さんに話題提供、進行を務めていただき「まちづくりの進め方」「第1種市街地再開発事業とは」「補助制度」「事例紹介」の4つの項目についてプレゼンテーションしていただきました。

以下、発表内容の一部をご紹介します。

まちづくり(再開発)のきっかけは地元の土地建物を所有している方々の様々な思いから始まる。

- ・土地の有効活用を図りたいという思い。
- ・街の活性化を目指したいという思い。
- ・建物の老朽化を懸念する思い。

様々な思いを持つ地元の方々が集まり具体的にどのような街づくりを目指すのかの計画を立てる(マスタープランの作成)。そしてマスタープラン作成では、行政や各専門コンサルタント等と意見交換をし、勉強会などを通して、まちづくりに係る権利者たちの係わり合いにおいて生ずる事業のメリットやデメリット、

また、自己の資産はどうなるのか、税の負担は減るのか増えるのか。

こういった様々な疑問を解決し、明確にしていくと同時に再開発計画実行に向け、計画の進め方、仕組みなどを勉強していく。

今回はテーマの第1回目ということで、発表の概要としては、まちづくりがどのように始まり、具体的にどう進んでいくのか、また事業を行う上での助成や事例紹介といった流れに沿って、再開発事業の大枠をご説明して頂きました。

資料発表の合間に行われた参加者による意見交換では、再開発事業にまだ馴染みのない人たちに向けた「よりわかりやすい資料」作りのためにはこういった表現での説明が適切か、また図説資料はどのように展開していけば良いのかなど、様々な事が話し合われました。

地元をより良くしたいという地元の思いが「まちづくり」に繋がっていき、その思いが波及していく事で、まちづくりの具体化に繋がる。

それを改めて感じさせられる交流会でした。



〔レポート：株式会社豊多 大山 昌志〕

現地視察会

「東北復興状況視察～南三陸町を中心として～」

2014年7月31日～8月2日



平成26年7月31日(木)～8月2日(土)の日程で、協議会会員8名参加のもと、東日本大震災より3年以上が経過した東北の復興状況を確認するために現地視察会を実施しました。

今回の主な視察先は、気仙沼、志津川、石巻、閉上でした。また、南三陸町では役場に伺い、ご担当の方から復興計画やその進捗状況、住民意向の調整等のお話をヒアリングすることができました。

実際に現地を見て造成工事等の規模の大きさにまず圧倒されました。また、移転意向の明確な整理が確認されないとお金が動かせないという仕組みのなか、時間経過とともに住民の方々との調整結果は変化することも多いことや、被災市街地復興土地区画整理事業、防災集団移転促進事業など複数の事業間におけるスケジュール調整など、復興事業全体の困難さを理解することができました。また数年後、事業の進捗を視察したいと考えています。



平成27年 新年交礼会

2015年1月29日 会場：中村屋旅館

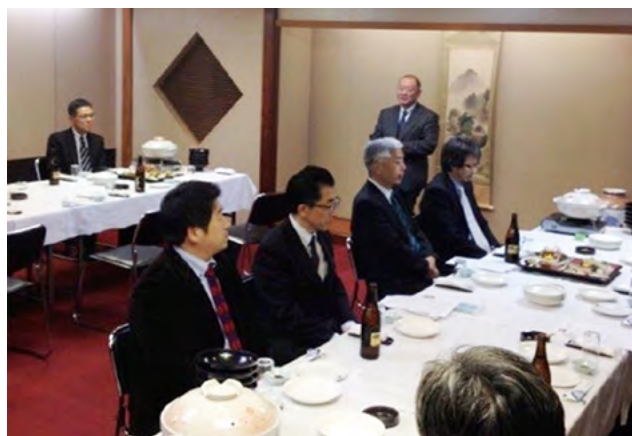
平成27年1月29日(木) 中村屋旅館にて、一般社団法人北海道まちづくり協議会の平成27年新年交礼会を開催しました。

当日は会員のみならず総勢45名の皆様にご参加いただき、賑やかに交流することができました。

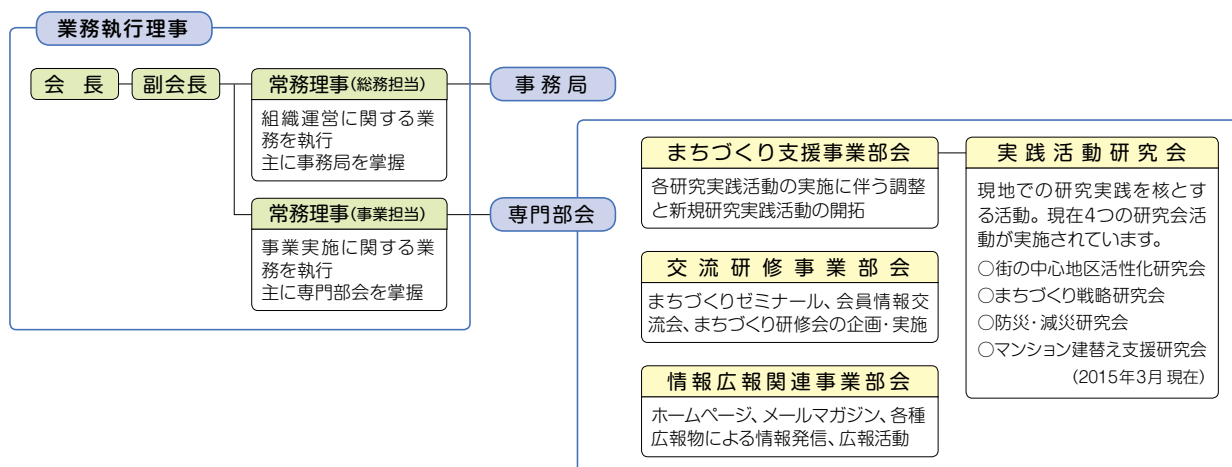
初めに、当協議会の大石会長から、新年のご挨拶がありました。そのなかで、地方創成の動きを受け北海道都市再開発促進協会時代からの認知度を活かし、道内自治体との関わり強化が求められている認識が大切であること、合わせて各部会・研究会活動の充実に対する激励の言葉もあり、身が引き締まる思いを抱きました。

交礼会は、稲葉勝巳理事の乾杯で始まり、会の中盤には、各部会長・各研究会座長のスピーチがありました。これに加え、川瀬常務理事からの紹介により当協議会に大変ご興味を持たれ特別参加を希望された皆様方からご挨拶を頂戴するなど、充実した大変楽しい新年交礼会となりました。最後は能戸副会長の中締めにより、閉会となりました。

〔レポート：株式会社シン技術コンサル 中山 祐二〕



■ 組織 執行理事を中心に事業を推進し、会員の皆さまに専門部会や研究会活動へのご参画を募っております。



役員

特別顧問	上田 陽三	前社団法人北海道まちづくり促進協会 会長
顧問	森 哲子	株式会社クオリアット 代表取締役
相談役	濱谷 雅弘	北海道科学大学未来デザイン学部 教授
相談役	吉岡 宏高	札幌国際大学観光学部 教授
会長	大石 章夫	有限会社大石R計画 代表取締役
副会長	能戸 裕之	有限会社ジョブコム 代表取締役
常務理事	大場 眞一	株式会社シグマ都市コンサルタント 代表取締役
常務理事	高森 篤志	株式会社ソフトスケープ 代表取締役
常務理事	川瀬 浩	琴似4・2地区第一種市街地再開発事業個人施行者 事務局長
常務理事	山口 重則	YAM 建築計画 主宰
理事	稲葉 勝巳	一般財団法人日本不動産研究所 北海道支社 支社長
理事	岩崎 秀樹	株式会社ドーコン 取締役 執行役員 都市・地域事業本部長
理事	岩田 徳夫	岩田地崎建設株式会社 取締役常務執行役員 東京支店長
理事	西尾 吉博	伊藤組土建株式会社 常務執行役員 総務本部副本部長
監事	林 誠	株式会社北海道鑑定 代表取締役

事業部会長

まちづくり支援事業部会	中山 祐二	株式会社シン技術コンサル 都市施設部 次長
交流研修事業部会	坂本 行宏	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメンツ 代表取締役
情報広報関連事業部会	岡本 浩一	北海学園大学 工学部 教授

事業内容

(1) まちづくり支援事業	各分野に関する 調査研究、支援、提言	◎地域再生、コミュニティの形成・再生
		◎まちの産業再生・活性化、まちマネジメント
		◎多様な分野との連携をいかしたまちづくり
		◎再開発やマンション建替え事業
	◎実践活動研究会 ◎受託支援事業 ◎まちづくり支援相談	
(2) 交流研修事業	◎まちづくりゼミナール ◎会員情報交流会 ◎まちづくり研修会 等の実施	
(3) 情報広報関連事業	◎ホームページ、メールマガジン等による情報発信・広報	
(4) 環境への取り組み	地域の環境保全に貢献することを目的に、受託事業費の1%程度を活用し、環境や自然保全などに取り組む公益的団体等に寄付、支援等を実施	

2015年3月31日現在

【法人正会員】

	会員名	指定代表者
1	株式会社アーレックス	代表取締役 林 秀樹
2	アルファコート株式会社	代表取締役 川村 祐二
3	伊藤組土建株式会社	執行役員 総務本部 副本部長 西尾 吉博
4	岩田地崎建設株式会社	取締役常務執行役員 東京支店長 岩田 徳夫
5	有限会社ウイステリア	代表取締役 藤井 基彰
6	有限会社大石R計画	代表取締役 大石 章夫
7	株式会社クオリアット	代表取締役 森 哲子
8	株式会社クレオ・ムイナス	代表取締役 今村 樹憲
9	株式会社コムズワーク	代表取締役 竹ノ内 久
10	株式会社シー・イー・サービス	代表取締役社長 小室 裕一
11	株式会社シグマ都市コンサルタント	代表取締役 大場 眞一
12	清水建設株式会社北海道支店	執行役員支店長 山中 庸彦
13	有限会社ジョブコム	代表取締役 能戸 裕之
14	株式会社シン技術コンサル	代表取締役 志村 一夫
15	株式会社ズコーシャ	技術顧問 高橋 明男
16	有限会社ステージ	代表取締役 北川 好和
17	セントラルリーシングシステム株式会社	代表取締役社長 本多 貞直
18	株式会社ソフトスケープ	代表取締役 高森 篤志
19	大成建設株式会社	札幌支店 開発部長 中村 清一
20	株式会社ドーコン	都市・地域事業本部 総合計画部 参与 石塚 雅弘
21	戸田建設株式会社札幌支店	支店長 山田 裕之
22	土地家屋調査士法人共生	代表 加藤 俊太郎
23	株式会社日本設計	札幌支社 支社長 目黒 裕史
24	日本データーサービス株式会社	企画部 課長 山下 昌彦
25	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社	支社長 稲葉 勝巳
26	株式会社豊多	代表取締役 豊川 泰封
27	株式会社プラッツ	辻井 順
28	北海道印刷企画株式会社	代表取締役社長 中村 宣隆
29	北海道ガス株式会社	執行役員エネルギー営業部長 山本 一夫
30	株式会社北海道鑑定	代表取締役 林 誠
31	街制作室株式会社	代表取締役 国分 裕正
32	丸彦渡辺建設株式会社	代表取締役社長 工藤 茂
33	株式会社宮川建設	代表取締役 入江 秀美
34	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメンツ	代表取締役 坂本 行宏
35	和光技研株式会社	代表取締役社長 細川 康司

【個人正会員】

2015年3月31日現在

		会 員 名	
税理士等	1	司法書士・行政書士中嶋成美事務所 中嶋 成美	
	2	中村和雄税理士事務所 中村 和雄	
	3	土地家屋調査士 西田 政道	
個人事業主	4	YAM 建築計画 主宰 山口 重則	
	5	グラスハート・デザインズ 主宰 小林 道郎	
一 般	6	一戸 勝巳	18 中村 清司
	7	岡本 浩一	19 西間 敏幸
	8	葛西 政一	20 濱谷 雅弘
	9	片岡 道宣	21 深澤 照一
	10	加納 隆一	22 藤山 三冬
	11	川瀬 浩	23 本間 寿幸
	12	後藤 健夫	24 松井 泰友
	13	佐藤 市郎	25 丸田 剛久
	14	須藤 公之	26 吉岡 宏高
	15	加藤 見千子	27 吉田 潔
	16	武井 秀爾	28 吉村 廣
	17	堂 善之	

【賛助会員】

	会 員 名	代 表 者
1	琴似4・2地区第一種市街地再開発事業個人施行者	代表 宮坂 美恵子
2	恵み野商店会	会長 小笠原 剛
3	まちづくり会社 小樽駅前ビル株式会社	代表取締役 山本 忠広

【特別会員】

会 員 名	代 表 者	会 員 名	代 表 者
1 岩見沢市	市長 松野 哲	8 苫前町	町長 森 利男
2 恵庭市	市長 原田 裕	9 二セコ町	町長 片山 健也
3 音更町	町長 寺山 憲二	10 函館市	市長 工藤 壽樹
4 帯広市	市長 米沢 則寿	11 東川町	町長 松岡 市郎
5 倶知安町	町長 西江 栄二	12 利尻町	町長 保野 洋一
6 滝川市	市長 前田 康吉	13 稚内市	市長 工藤 広
7 千歳市	市長 山口 幸太郎		

2014 年度末現在の会員数								合計
法人正会員	35	個人正会員	28	賛助会員	3	特別会員	13	79



KITAMACHI

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

2014年度 活動報告書

〔発行〕

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

札幌市中央区北3条西7丁目-1 緑苑ビル2階

TEL.011-232-0926 FAX.011-222-5697

Email : info-ad@kitamachi.org

●お問い合わせ等はEメールでお願いします